

# 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	56,279,604	75,202,829	△ 18,923,225
未収金	242,429,213	172,659,400	69,769,813
前払金	0	87,476	△ 87,476
立替金	0	204,271	△ 204,271
有価証券	0	571,901	△ 571,901
<b>流動資産合計</b>	<b>298,708,817</b>	<b>248,725,877</b>	<b>49,982,940</b>
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
<b>基本財産合計</b>	<b>20,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	<b>0</b>
<b>(2) 特定資産</b>			
研修事業積立資産	72,788,642,379	73,469,122,079	△ 680,479,700
管理業務準備資産	8,693,481,000	8,841,571,000	△ 148,090,000
事業費用準備資金	2,277,022,800	3,250,300,800	△ 973,278,000
退職給付引当資産	175,532,300	160,394,600	15,137,700
<b>特定資産合計</b>	<b>83,934,678,479</b>	<b>85,721,388,479</b>	<b>△ 1,786,710,000</b>
<b>(3) その他固定資産</b>			
土地	4,911,062,964	4,911,062,964	0
建物	6,744,294,988	6,974,815,075	△ 230,520,087
建物附属設備	1,408,351,992	1,570,694,535	△ 162,342,543
構築物	302,494,682	320,389,159	△ 17,894,477
車両運搬具	5,251,624	10,910	5,240,714
什器備品	80,223,820	63,170,563	17,053,257
ソフトウェア	5,693,212	4,902,478	790,734
図書	482,780	482,780	0
敷金	959,100	1,033,100	△ 74,000
預託金	68,350	109,380	△ 41,030
<b>その他固定資産合計</b>	<b>13,458,883,512</b>	<b>13,846,670,944</b>	<b>△ 387,787,432</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>97,413,561,991</b>	<b>99,588,059,423</b>	<b>△ 2,174,497,432</b>
<b>資産合計</b>	<b>97,712,270,808</b>	<b>99,836,785,300</b>	<b>△ 2,124,514,492</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	19,022,956	17,327,183	1,695,773
預り金	5,049,586	4,804,052	245,534
前受金	16,650	49,700	△ 33,050
賞与引当金	60,130,264	55,796,460	4,333,804
<b>流動負債合計</b>	<b>84,219,456</b>	<b>77,977,395</b>	<b>6,242,061</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	174,038,300	154,916,600	19,121,700
役員退職手当引当金	1,494,000	5,478,000	△ 3,984,000
<b>固定負債合計</b>	<b>175,532,300</b>	<b>160,394,600</b>	<b>15,137,700</b>
<b>負債合計</b>	<b>259,751,756</b>	<b>238,371,995</b>	<b>21,379,761</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
寄付金	20,000,000	20,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>20,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>97,432,519,052</b>	<b>99,578,413,305</b>	<b>△ 2,145,894,253</b>
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(83,759,146,179)	(85,560,993,879)	△ 1,801,847,700
<b>正味財産合計</b>	<b>97,452,519,052</b>	<b>99,598,413,305</b>	<b>△ 2,145,894,253</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>97,712,270,808</b>	<b>99,836,785,300</b>	<b>△ 2,124,514,492</b>

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金

職員に対する退職手当に備えるため、当期末における自己都合要支給額を計上している。

役員退職手当引当金

役員に対する退職手当に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

### (4) 消費税等の会計処理

税込み方式で行っている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
研修事業積立資産	73,469,122,079	0	680,479,700	72,788,642,379
管理業務準備資産	8,841,571,000	0	148,090,000	8,693,481,000
事業費用準備資金	3,250,300,800	0	973,278,000	2,277,022,800
退職給付引当資産	160,394,600	20,615,700	5,478,000	175,532,300
小計	85,721,388,479	20,615,700	1,807,325,700	83,934,678,479
合計	85,741,388,479	20,615,700	1,807,325,700	83,954,678,479

※1 研修事業積立資産の当期減少額は、投資有価証券評価損680,479,700円によるものである。

※2 管理業務準備資産の当期減少額は、投資有価証券評価損148,090,000円によるものである。

※3 事業費用準備資金の当期減少額には、投資有価証券評価損3,518,000円が含まれている。

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	—	—
小計	20,000,000	(20,000,000)	—	—
特定資産				
研修事業積立資産	72,788,642,379	—	(72,788,642,379)	—
管理業務準備資産	8,693,481,000	—	(8,693,481,000)	—
事業費用準備資金	2,277,022,800	—	(2,277,022,800)	—
退職給付引当資産	175,532,300	—	—	(175,532,300)
小計	83,934,678,479	—	(83,759,146,179)	(175,532,300)
合計	83,954,678,479	(20,000,000)	(83,759,146,179)	(175,532,300)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,542,926,822	4,798,631,834	6,744,294,988
建物附属設備	4,252,999,677	2,844,647,685	1,408,351,992
構築物	963,820,718	661,326,036	302,494,682
車両運搬具	22,072,184	16,820,560	5,251,624
什器備品	505,544,123	425,320,303	80,223,820
ソフトウェア	53,842,313	48,149,101	5,693,212
合 計	17,341,205,837	8,794,895,519	8,546,310,318

5. その他

(1) 金融商品の状況関係

① 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。  
なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

② 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

③ 金融商品のリスクに係る管理体制

(ア)「財団法人全国市町村研修財団の保有する資産の運用に関する基本方針」に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の「財団法人全国市町村研修財団の保有する資産の運用に関する基本方針」に基づき行う。

(イ)信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

(ウ)市場リスクの管理

債券については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

(2) 正味財産増減計算書関係

研修生の活動費用・教材用図書費等について、昨年度までは、受入時に預り金の増加、払出時に預り金の減少としていたが、当年度から、受入時に収益に計上し、払出時に費用に計上している。これにより、研修事業収益は37,466,630円増加し、委託費等も同額増加している。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	55,796,460	60,130,264	55,796,460	0	60,130,264
退職給付引当金	154,916,600	19,121,700	0	0	174,038,300
役員退職手当引当金	5,478,000	1,494,000	5,478,000	0	1,494,000